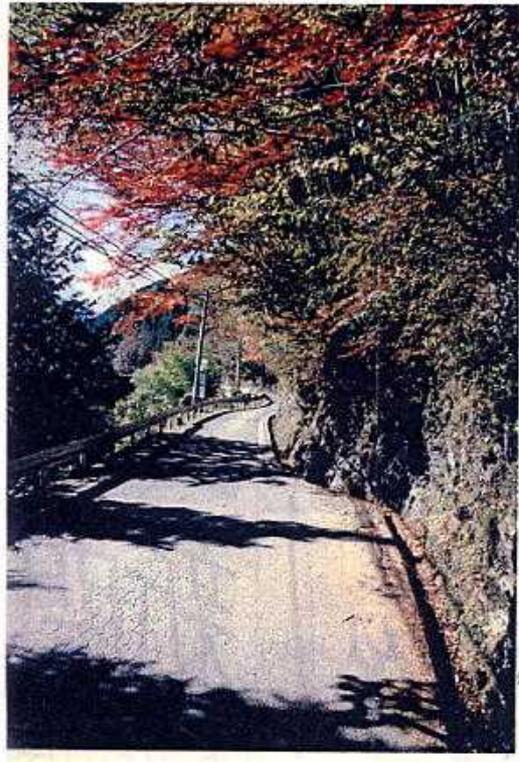


てん新聞

06.11.No115
行佐 市岡田城
登真

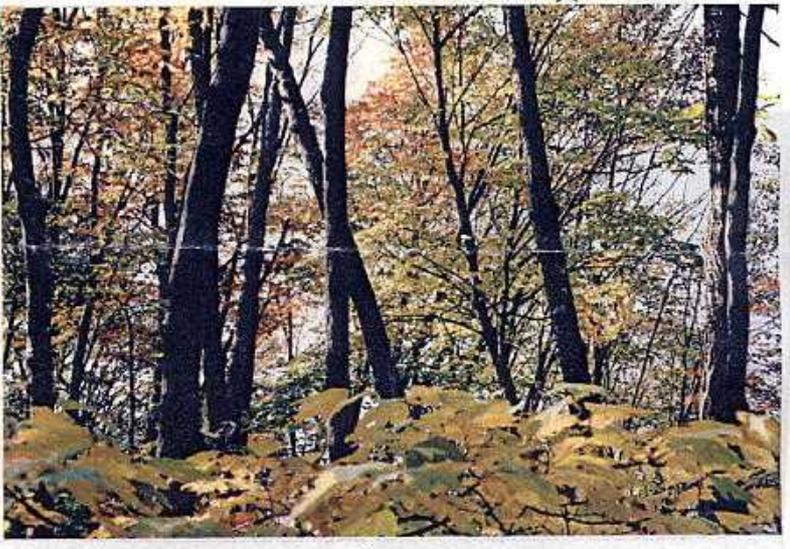
今が旬

十月は、ブラスをスタイルに相谷でスタートし、少くもつつ紅葉もはじめていました。ちょうど天候がいつもの年より暖かくて、紅葉も遅れていた。が十一月になり、剣山も初冠雪。平地(700m)でも初霜。初氷と奥谷がおくよせ。この所、十度を割る気温になり一気に山が冷え始めるような色あざきをはじめてました。登山案内も、ちょうど紅葉が美しく、参加した皆さんに、相谷の自然の美しさを堪能し、こいたできました。



相谷の秋

秋



谷間に、赤、黄の色が大変美しく、風景とよつています。一日中眺めていても、移りゆく時、間と空に輝く木々の葉が見事という他ありません。

お金を払って買えない物が、ここにはあります。毎日見ている、昨日とは違う今日を、体感できること間違いありません。

また、この頃は、ススキの穂が光り中で輝いていたり、相谷の名地では、コエグロが見えて、ほんとにいいな、い景景色です。

とつと雪が降り、すべてがモノトーンの世界になります。その時にあがる最後の輝きのようにつづいてきます。一足、相谷へ来て、みんさん。

やってみんさん

TEL: 0883-1881-5290へ連絡して参加して下さい。

茅刈り

相谷に残っている数少ない茅葺き屋根の家「ちり」。

この屋根の葺き替えは、どうカウントダウンの状態です。家の裏側の屋根は緊急にトタンで補修しています。

この「ちり」の屋根に使う茅刈りが今年もスタートしました。

茅刈り、鎌を使って手刈りです。ちり6人の外国人も参加して、茅刈りをやっていますので、国際交流も増やして、ちりの作業が、大変ですが面白いですよ。ボランティアを受け付けていますので、ご連絡下さい。

奥平 清重さん

また悲しい別れ

八月に奥平和明さんと悲しい別れをしまだそのショックが残っている十一月一日、またまた大切な人を失うことになりました。

奥平清重さん(和明さんのご主人)が長い病気の闘いの末、永い眠りについでつきました。

愛称「清」が多くの人に愛され、私達の中にも、決って全面に出ることはなかつたけど、その時々において大きなささげと、はるさポートをくさ下さっていました。ひょうごいこの民泊をはじめて、病気の闘いはから、水かけに苦心していたのは今年のはじめ頃です。

別れが定めとはいえ、あまりにも、清のご冥福をお祈り申し上げます。